



## 改革—考え方、受け止め方 (スーパーな女④)

8月⑥のごあいさつ

山内公認会計士事務所  
2022年8月22日(月)

スーパーな女を読んでいると、著者が「少女ポリアンナ」(エレナ・ポーター著 木村由利子訳 2013年 角川文庫刊)の主人公のような気がする。

人生、生きているとなんで自分だけがこんな苦しいのか。

どうしても耐え難い思いはあると思う。

でも、八方塞がりでも天井は開けられる。

では、どうしたら開けられるのか。

起こっている事柄に心から感謝する。気がついたら乗り越えている。

そして、また次の壁にぶつかり、また悩む。そんなことに気がついた。とにかく逃げない。必ず天井の扉は開く。

60点で走る。

まず、100点は求めない。

社員には60点でよいから走り出して下さいという。

そうすれば、初めから100点を求められないため、多少の失敗を恐れず、勇気を持って踏み出すことができる。最初から完璧を目指さなくてもよいと伝える。最終的に100点に近づけばよい。

MOBの成功の理由は、

(1) 一番大事なことは、社員の意識改革ができたこと

(2) 旗を振るリーダーとして覚悟を決めたこと

これは、売上にしかこだわっていない会社を1年目には、売上ではなく「営業利益」という言葉を徹底して使った。2年目は、前は「人時生産性」という社内の言葉を「労働分配率」に変えて、を意識して使うようにした。

働く人すべてに、営業利益と労働分配率という「経営者意識」を持ってもらいたいと願った。

「ありがとう」は魔法の言葉。

社員のみなさんありがとうございます。今の会社があるのは、ここで働くみなさん一人ひとりのおかげです。

「ありがとう」は、魔法の言葉です。感謝することで、自分が幸せな気持ちになります。「感謝」することで、強い心ができるのだと思います。人に感謝し、常に何事にも前向きで、ポジティブな姿勢で向き合いたい。我が社では、そんな人が育っていく社風であってほしいと願っています。

(崖っぷちの会社を立て直したスーパーな女 清川照美著 2020年6月 ダイヤモンド社刊)